

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.46

2025年6月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



後列左から 橋本研修医、村津研修医、成島研修医、白須研修医、染野研修医、東原研修医
前列左から 重倉研修医、牧野研修医、谷中研修医、林研修医、熊野研修医、岩崎研修医

診療科紹介

整形外科

未来の安心は、学びの一步から

～地域とつながる赤十字講習プログラム～

マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

お知らせ



整形外科部長 竹内大作

・整形外科って？

美容整形とよく間違われます。娘からも、友だちに違いを聞かれて困ったと言われました。お答えします。シリコンは入れませんが、インプラントは入れます。鼻は真っ直ぐにしません、背筋は真っ直ぐにしません。実際、歴史的に整形外科の成り立ちは背骨や四肢の変形矯正で、日本整形外科学会をはじめ各国の整形外科学会のロゴからも見て取れます。装具療法からスタートして現代ではインプラントを用いた矯正固定術が各分野で盛んです。私は前任の獨協医大で側弯症診療に多く携わった経験から脊柱変形、特に腰曲がりの矯正手術を得意としています。また吉川関節外科部長は、軟骨が減る・半月板が傷む原因となる膝の変形を、大腿や下腿の骨切り術によって矯正する手術を得意としています。

折しも就任以来初めてホームページを更新してその一端をご紹介しておりますので是非ご覧ください。



左から順に日本、フランス、ドイツ、アメリカの整形外科学会のロゴ

・整形災害外科

整形外科のもう一つの柱は災害外科、すなわち外傷治療です。すなわち病人より怪我人を治すことに闘志を燃やす集団です。私は令和6年度能登半島地震被災地に日赤救護班として派遣された経験からその想いを一層強くしました。ある日突然奪われる日常…それは災害に限らず急な怪我によって病院のベッドで

天井を見つめる境遇に追いやられた人も同じです。昨年度当科で手術をした1032件中、実に3分の1以上の392件が外傷の手術で、多くは夜間休日の時間外手術でした。しかし幸い当科のメンバーは（部長2人を除いて）バイタリティ溢れる30代の若者です。非日常に放り込まれた人々たちを日常に戻すべく日夜奮闘しています。



救護班第2班メンバー、任務を終えて珠洲市にて：
後列左より 高橋連絡調整員、呉連絡調整員（理学療法士）、鈴木主事（放射線技師）、石橋薬剤師、竹内医師、和田主事、加藤看護主任、
前列左より 長瀬医師、大野看護主任、星看護師長



2025 - 26 シーズン整形外科メンバー：左から竹内整形外科部長、土井医師、篠崎医師、大高医師、都丸医師、吉川関節外科部長

・PRP療法ははじめます！

当科は高度な手術に対応できるよう訓練された技術集団である反面、手術に至らない軽症の方々の保存治療（手術以外の薬物療法、装具治療、物理療法などを総称して保存治療といいます）が不得意です。きめ細やかな通院治療が必要不可欠な保存治療は近隣のクリニックの先生方にお願ひしています。しかしながら、手術には至らないものの保存治療では十分痛みが取れない、手術が必要なのは理解しているが今は入院できない、という方がいらっしゃるのも事実です。そこで、第3の選択肢としてPRP療法を始めることにしました。PRPとはPlate rich plasma（血小板を多く含む血漿）のことです、患者さん本人から採血し、それを処理した注射液を関節や靱帯・腱・筋肉などに注射して損傷組織の修復・消炎を促すという治療です。8月1日から開始予定で、詳細

はホームページにアップしますのでご期待ください！



© Waqoo, Inc.

未来の安心は、学びの一步から ～ 地域とつながる赤十字講習プログラム ～



「未来の医療職、ここからスタート。」（職業体験学習）

地域で暮らすみなさんのそばに、いつも「安心」があるように。

当院は、5つの講習（救急法、幼児安全法、健康生活支援講習、水上安全法、赤十字防災セミナー）を自由に組み合わせられる、「赤十字講習プログラム」を提供し、地域での学びをサポートしています。たとえば、お祭りや地域行事での救護活動も、こうした講習で得た知識や経験が活かされています。

職業体験に参加した子どもたちの「楽しかった!」という声も、未来の医療職への第一歩かもしれません。



救護所設置

楽しい地域の催し事も、安全に開催されるから思い出になるはずです。

【サイドコラム】

新任健康生活支援講習指導員へインタビュー



呉 理学療法士

指導員になるきっかけ？

A. 理学療法士が得意とする運動や介助の技術を活かしたいと考えました。

講習で伝えたいことは？

A. 運動は、何歳から始めても効果があります。新任指導員として、運動・介助方法の面で協力して行きたいです。

赤十字講習プログラム

キーワード：備え / 実感 / 日々の積み重ね

当院の日赤指導員が、要望に合わせて講習を提供します。目的に合わせて自由に組み合わせてください。

たとえば、「夏休みのプールで安全に遊ばせるために気をつけることは？」など、“小さなお子様をもつ親御さん達”や“保育園の先生”からもご依頼をいただいています。

郡須赤十字病院

赤十字講習プログラム

ご希望(時間・内容・会場・人数)に合わせて、講習会を開催できます

救急法

- 救-1 心肺蘇生とAEDの使い方
- 救-2 のどにものが詰まったら
- 救-3 止血・けがの手当
- 救-4 急病時の手当
- 救-5 傷病者の搬送法
- 救-6 エビデンの使い方

幼児安全法

- 幼-1 乳幼児の一時救命処置
- 幼-2 子どもに多い事故と予防
- 幼-3 子どもの嘔吐と手当
- 幼-4 子どものけがの手当
- 幼-5 災害時の乳幼児支援

健康生活支援講習

- 日常生活における支援
 - 健-1 杖や車椅子の正しい使い方(起き上がり・立ち上がり)
 - 健-2 食事の支援
 - 健-3 排泄の支援
 - 健-4 着替えの支援
- 地域における支援活動
 - 健-5 地域で支える認知症～認知症の人への対応～
 - 健-6 感染症予防～手洗いの基本について・手洗いチェック～
- 健やかな高齢者をむかえるために
 - 健-5 フレイル・生活不活発の予防
 - 健-6 高齢者に多い事故の予防と手当、急病への対応
 - 健-7 自分らしい最後の時を過ごすための話し合い～
- 災害時の避難生活に役立つ知識
 - 健-10 避難生活での心と健康を守る知識
 - 健-11 支援生活に役立つ知識と技術

水上安全法

- 水-1 海、川、プールの危険を知ろう
- 水-2 監視者の心得
- 水-3 着衣泳(実技)
- 水-4 救助用器具の使い方(実技)

赤十字防災セミナー

- 防-1 災害への備え～自助・共助について考える～
- 防-2 災害エス・グラフィ～読み物を通じた災害の追体験～
- 防-3 災害図上訓練(DIG)～地域防災マップから危険箇所を理解～
- 防-4 家具安全対策ゲーム(KAG)～家具の安全対策を考える～
- 防-5 おうちのキャン～子ども向け家具の安全対策～
- 防-6 ひなんじょたいけん～避難所生活をカードゲームでイメージ～



4月 入社式・オリエンテーション

那須赤十字病院に新たに約 80 名の新入職員が加わりました。

4月1日に採用職員の入社式があり、4月1日～6日まで新入職員にはオリエンテーションを実施し、各部署へ配属されます。



4月 那須赤十字病院後援会 寄贈式

那須赤十字病院後援会より、今年度は「歩行器」の寄贈がありました。

現在の後援会の会員数は法人 139 団体、個人 185 名です。公的医療機関として病院が適正かつ円滑に運営されるようご支援いただいております。



時間外選定療養費の導入について

当院の救命救急センターでは重篤な方への治療に注力するため、**紹介状なく救急外来を夜間・休日等時間外に受診した軽症の方から、2025年8月1日より**定額の負担金（**11,000 円**）をいただくこととなりました。

当院は国の指定する**紹介受診重点医療機関**であることから、救急のみならず、紹介状がない場合一般外来の方でも各種負担金（例：初診時選定療養費：7,700 円）をいただくなど、**適切な医療機関受診と医療機関同士の連携・役割分担**を推進しておりますので、**必ず紹介状を持参**願います。

なお、救急医療を第一に行うため、通常の診療はかかりつけ医を受診し、夜間・休日等時間外の際には夜間急患診療所や休日当番医をまず受診してください。

また、救急医療の適正受診及び医療機関の役割分担に関する詳しい案内は、栃木県や周辺自治体のホームページをご確認下さい。

みなさまのご理解ご協力の程お願い申し上げます。

2025年度「がんのつどい」のご案内

当院は「**地域がん診療連携拠点病院**」として、患者さんが集う会を定期的に開催しております。

同じような体験をされた方と、がんについて話してみませんか？

開催日時 毎月第1土曜日 10:00～11:00

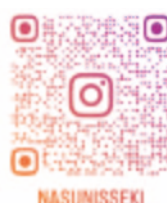
開催場所 那須赤十字病院 多目的ホール

参加対象 がんを経験されている患者さん・支えているご家族

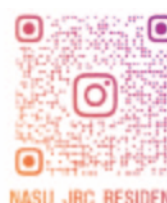
参加費 無料(事前申込が必要です)

開催日	内 容	開催日	内 容
6/7(土)	化粧の力 「資生堂」	10/4(土)	「薬について」 (薬剤師)
7/5(土)	フリートーク (ゲスト医師)	11/1(土)	音楽の秋 「ミニコンサート」
8/2(土)	「食事について」 (栄養課)	12/6(土)	フリートーク
9/6(土)	フリートーク	2/7(土)	「リハビリについて」 (理学・作業療法士)
		3/7(土)	フリートーク

公式 SNS 開始のお知らせ



NASUNISSEKI



NASU_JRC_RESIDENT



Facebook アカウント

那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.46

発行日 2025年6月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <https://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷